

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年10月15日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 森山(清)組
所在地	鹿児島県鹿児島市唐湊一丁目13番25号
代表者役職・氏名	代表取締役 森山 崇
担当者連絡先	電話：099-252-1313
	メール： <a href="mailto:y.todaka@moriyamasei.co.jp">y.todaka@moriyamasei.co.jp</a>
ウェブサイトURL	<a href="https://www.moriyamasei.co.jp">https://www.moriyamasei.co.jp</a>















2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>大正10年に創業し、令和3年に創業100周年を迎えた総合建設会社です。港湾関連事業では起重機船を建造保有し、鹿児島県内一円において請負事業を実施しています。平成22年からは県に認定された「みんなの港サポーター」として、離島を含む6箇所の県管理港湾で定期的な清掃活動を実施しています。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	次世代自動車を導入し、CO2排出量の削減に取り組めます。	【現状】2台 【2030年目標】5台
□環境 ✓社会 ✓経済	女性が男性と同じように活躍できる雇用環境を整備します。	女性従業員割合 【現状】10% 【2030年目標】13%
□環境 □社会 ✓経済	定期的にBCPの見直しを行い、業務改善や事業継続戦略の見直しに繋がります。	【現状】見直しをしていない 【2030年目標】年1回の見直し

(次項へ続く)

### SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・障害者雇用推進者、高齢者雇用等推進者の任命 ・技能実習の責任者講習、指導員講習の受講					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・就業規則に規程を整備し監督署へ届出済み					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・週1回ノー残業デーの導入 ・有給休暇取得の促進								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・生活指導員講習受講者による適切な管理				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・IOS45001の認証・取得			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・全従業員へのストレスチェックの実施 ・産業医と連携した相談体制の整備			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・令和4年10月現在、3名の障がい者の雇用 ・【予定】女性従業員割合の増加を目指す					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・公的資格の取得支援 ・年次に応じた適切な研修・講習を計画的に受講させる				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・40歳以上の従業員に対する人間ドックを費用負担にて実施			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・社内で発生する廃棄物の分別の徹底 ・ペーパーレス化による印刷・保管コストの削減											11.6	12.4 12.5	14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・本社照明のLED化 ・電力等のエネルギー使用量の管理							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・【予定】次世代自動車を導入し、CO2排出量の削減に取り組む							7.2 7.3				####	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・公害防止管理者による適切な使用管理 ※屋久島プラント			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ オイルフェンス・汚濁防止フェンス等の使用						6.6								15			
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・ 本社の事業用水は地下水を利用 ・ メーターで量水を管理し、年一回鹿児島市へ報告						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ ISO14001の認証・取得			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ 建設新聞、自社ホームページ等を通じて ボランティア活動の実施報告と情報の開示										12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ ISO9001の認証・取得			3.9							12.4							
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ ISO9001の認証・取得 ・ 品質向上に向け、資格取得や講習会への積極的な受講									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ 現場での標識やカラーコーンについて ソーラー式工事灯を利用						6				12	13	14	15				
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 年一回、地下水貯水槽の清掃と水質検査の実施 ・ 揚水ポンプ、モーターの定期メンテナンス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9	11	12		14	15		17	
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 県内の離島を含む港湾・漁港の清掃活動 ・ 企業版ふるさと納税、催事への寄付				4						11			14	15		17	
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9	11	12	13					

